

令和元年度 上京区地域保健推進協議会 概要

日 時 令和元年7月29日（月）午後2時から午後3時30分
場 所 上京区総合庁舎 4階大会議室1
出席委員 菅野委員、水谷委員、松尾委員、福田委員、中島委員、宮崎委員
木村委員(代理)、清川委員(代理)、井筒委員、赤井委員、余田委員、
織田委員、四辻委員、石田委員、山岡委員、小西委員

<開会挨拶>松本保健福祉センター長

<議題（1）上京区役所保健福祉センター事業について>

- ・健康づくりについて（健康長寿推進課 前田担当課長）
- ・精神保健について（障害保健福祉課 吉川課長）
- ・母子保健について（子どもはぐくみ室 小堀課長）
- ・感染症について（医療衛生コーナー 井上課長）
（医療衛生センター 橋本係長）
- ・受動喫煙防止の取組について
（子ども若者はぐくみ局 有本担当部長）

<議題（2）意見交換>

井筒委員 : 健康長寿について、「おもてなし」カードを使ったり、健康教室など対策をされている。

健康診断の受診状況について、どんな状況なのか、40歳以上の人もどんな状況なのか、お聞かせいただきたい。

前田担当課長： 資料で特定健診の受診率について示しているとおり、国民健康保険の特定健診受診率は低い状況である。

この受診率を上げていくことが本市の課題となっている。

今年度は、ポスターの掲示による周知に加え、回覧チラシでの周知を実施したところ、京都市全体で受診者が増加していると聞いています。

同様に、上京区でも少しずつではあるが増加している。

また、特定健診の受診者は40歳代、50歳代が低いという状況がある。ご自身の健康を守るために、ぜひ受診していただきたい。

井筒委員　　： 特定健診受診者が、増えていくことが予防につながるし、先生方からもご指導いただくことが受診者増加に効くのかなと思う。

前田担当課長： その点について先生方からご意見はございますでしょうか。

菅野委員　　： 受診率が低いのは問題であると認識している。
健診を受けていただかないと、病気の早期発見につながらない。

高齢の方ががんも多くなっている。
どうしても、健診が抜けた年に限って病気が見つかる傾向にある。

糖尿病の方も多くなっている。
医療機関も協力するので、区民のみなさんに健診を受けていただけるよう、行政も更に周知していただきたい。

水谷委員　　： 特定健診について市民しんぶんに掲載する等周知していることで、全体的に増加してきていると思う。
人間ドックは受けようとすると待たされることが多い。
まずは特定健診を受けていただいた方が、早く医師から注意を受けられたり、病気が発見されたりするので健康長寿につながると思う。